麓小学校　第５学年１組　教科「日本語」学習指導案

日　時　令和８年１１月５日（木）５校時
場　所　５年１組教室
児童数　３２名
指導者　草場　奈菜

１　単元名　心にひびく言葉やセリフを見つけよう

２　単元について

（１）　題材観

本題材は、漫画やドラマ、歌詞や詩など身近な作品にある魅力的な言い回しを楽しみ味わうことで、言葉への関心を高めることをねらいとしている。児童は教師が紹介する「心にひびく言葉やセリフ」に触れたり、自分で見つけた言葉やセリフをランキング形式で友達に紹介したりする学習を通して、楽しみながら言葉への興味・関心を深めることが期待される。また、場面絵に合う言葉をグループで考え発表する活動を取り入れることで、学習後も日常生活で「心にひびく言葉やセリフ」を見つけ活用できる力を育てる題材である。

（２）　児童観

本学級の児童は、とても明るく、何事も頑張ろうとする児童が多い。しかし、場面や相手に応じた話し方を使い分ける児童は少なく、誰にでも友達のような言葉使いで話してしまう傾向がある。また、友達との関わりの中で自分の思いを伝える際に適切な言葉が思いつかず、表現に困る児童も見られる。

児童は、１学期に「鳥栖市の校歌を味わおう」の学習で、自分達の校歌へ親しみをもち、使われている言葉の意味について興味・関心を高めた。オリジナル校歌の作詞では、表現したい言葉が見つからず苦労する児童が多かった。また、完成した作品を全体の場で発表することも自信がもてず難しい様子だった。

「行事のしきたりを知ろう」の学習で、どのような行事が日本にあるのかを調べた。自分が興味のある行事を選び、意味やしきたりについて調べ、文章と画像で分かりやすく、タブレットを使ってまとめることができた。さらに、全体で発表の場でも、タブレットの画像を電子黒板に映し、堂々と説明することができた。友達の発表を聞くことで、自分が知らなかった行事のしきたりを知り興味をもつきっかけとなっていた。

これまでの取り組みで、自分の考えたことや感じたことを表現する際、タブレットの活用により、文書と画像を結びつけて自分の考えや感じたことを伝えたいという意欲が徐々に高まっている。

（３）　指導観

指導にあたっては、導入で教師が選んだ「心にひびく言葉やセリフベスト３」を提示し、どのような場面で心に響いたかを説明することで、児童も「心にひびく言葉やセリフ」を探してみたいという意欲を引き出す。１時目の学習から２時目の間に約２週間の期間を設け、児童が学校や家庭で、いつでも「心にひびくセリフや言葉」をメモできるようワークシートを配布する。

２時目は、自分が見つけてきた「心にひびく言葉やセリフ」の中からベスト３を考えさせる。タブレットを活用して、各セリフと選んだ理由をスライドそれぞれ１枚で作成させる。児童が見通しをもって取り組むことができるように、導入で提示した教師の「心にひびく言葉やセリフベスト３」のスライドを全体に示した後に取り組ませるようにする。

３時目は、４人グループでランキングを発表し合う活動を行う。友達の発表を聞くことで、多様な「心にひびく言葉やセリフ」があることや、同じ状況でも人によって心に響く言葉が異なることに気付かせたい。

次に、場面絵を提示して場面に合う「心にひびく言葉やセリフ」を自分たちが見つけた中からグループで選ぶ活動を行う。グループで取り組むことで、自分たちが見つけた「心にひびく言葉やセリフ」を新たな視点で見直し、日常生活で生かしたいという意欲につなげたい。

単元を通して、児童が見つけた「心にひびく言葉やセリフ」を学年掲示板や教室に掲示し、学習後も学びが継続するようにする。

本時の学習では、「ふもとのまなび　１０の視点」のうち以下のことについて重点的に取り組んでいく。

【授業づくりの１０の視点　⑤協働的な学びの充実】

グループで「心にひびく言葉やセリフ」のランキングを紹介し合う活動を行う。友達のランキングを聞いて感じたことを伝え合うことで、同じ状況でも異なる言葉やセリフが心にひびくことに気付かせる。また、場面絵に合うセリフをグループで見つける活動を行う。グループで取り組むことで、自分が見つけた「心にひびく言葉やセリフ」を見直し、考えが広がるようにする。

（４）　関連

国語科･･･読書活動　図書館利用の時間等の読書
音楽科･･･曲の歌詞の解釈など
家庭との連携･･･家庭での対話を通して
環境の整備･･･学年掲示板での言葉集め

３　単元の目標

自分が見つけた「心にひびく言葉やセリフ」のランキングを作成したり場面絵に合うセリフ見つけたりする活動を通して、身近な作品にある魅力的な言い回しを楽しんだり、味わったりしながら、言葉への関心を深めることができる。

４　単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分が見つけた心に響く言葉やセリフでランキングを作っている。	自分が見つけた魅力的な言い回しを楽しみ、友達に紹介したり、場面絵に合うセリフを見つけたりしている。	自分が見つけた魅力的な言い回しを楽しんだり味わったりしながら、言葉への関心をより高めようとしている。

５　指導計画と評価の計画（全３時間）

時	学習活動	評価規準（評価方法）〇記録に残す評価・指導に生かす評価		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	教師が選んだ「心にひびく言葉やセリフ」を紹介する。		〇地球星歌の歌詞の中から自分の「心	

	「地球星歌」の歌詞から、自分の「心にひびく言葉やセリフ」を見つける。 【①教材との出会い】		にひびく言葉やセリフ」を見つけ理由を考えている。 （ワークシート）	
課外	「心にひびく言葉やセリフ」を本や漫画本、テレビ、映画、歌詞から見つけたり家の人に尋ねたりする。			○「心にひびく言葉やセリフ」を自分で見つけて、メモしようとしている。 （ワークシート）
2	自分が見つけた「心にひびく言葉やセリフ」の中からベスト３を考える。 「心ひびく言葉やセリフ」とどんな時に思い出したいのかをスライドにまとめる。 【④思考操作】	○タブレットを使って、自分が見つけた「心にひびく言葉やセリフ」のランキングを作っている。 （タブレット）		
3本時	グループで「心にひびく言葉やセリフ」のランキングを紹介し合う。 場面絵に合うセリフを自分たちが見つけた言葉やセリフの中から見つける。 【⑤協働的な学び】		○自分が見つけた魅力的な言い回しを楽しみ、友達に紹介したり、場面に合うセリフを考えたりしている。 (ワークシート・発言)	

６　本時の学習（３／３）

（１）目標

「心にひびく言葉やセリフ」をグループの友達に伝え合い、言葉のよさを楽しんだり味わったりすることができる。

（２）展開

過程	学習活動	（○）教師の指導・支援　　（◆）評価
つかむ	１，前時を振り返る。	○「心にひびく」とは、「強く感動し、深く心に残り続けること」で「やる気になる・元気になる・励まされる・寄り添ってくれる・うれしくなる・明るくなる・前向きになる等の気持ちになること」であることを全体で確認する。 ○見通しをもって学習に取り組むことができるように、教師の「心にひびく言葉やセリフ」のランキングを紹介する。

	2,めあてを知る。	めあて　「心にひびく言葉やセリフ」を交流しよう。
	3,「心にひびく言葉やセリフ」のランキングを発表する。 ・４人グループで順番に発表する。 ・3位から発表し、友だちに感想を伝える。	○お互いにやりとりができるように、４人グループを作る。 ○ランキングを伝える時は、どんな場面で言われたいのか、どんな場面で使いたいのか、どんな場面で自分に言い聞かせたいか、伝えるように声をかける。 【１０の学びの視点　⑤協働的な学びの充実】
	4,全体で発表する。 ・「心にひびく言葉やセリフ」のランキングの中から、発表する。 〈例〉○○さんの選んだ、この言葉は、悲しい時に言われると元気づけられます。	○色々な「心にひびく言葉やセリフ」があったことを知るために、児童に発表させる。また、発表する児童がいない場合は、おすすめの友達の「心にひびく言葉やセリフ」を紹介するように声をかける。 ○発表した児童と同じ場面で、違う言葉を選んでいる児童に発表させ、色々な言葉やセリフがあることや人によって感じ方が違うことを全体化する。
考える　学び合う	5,場面絵に合う言葉をグループで話し合う。 「努力しているが、なかなか結果が出ない時に友達から声をかけられる場面」	○児童がイメージしやすい場面絵を提示する。 ○どのような場面なのか、しっかりと全体で共有する。 ○場面絵に合う「心にひびく言葉やセリフ」をグループでランキングの中の言葉や今までに集めた言葉から見つけ、一つの短冊に書き込むよう伝える。また、第二候補、第三候補があれば、その都度、短冊を取りに来るよう伝える。 ◆グループで「心にひびく言葉やセリフ」を伝え合ったり見つけたりすることで、言葉のよさを楽しんだり、味わったりしている。　【思考・判断・表現】(観察・ワークシート) B:「心にひびく言葉やセリフ」を伝え合ったり、友達と見つけたりすることで、言葉のよさを知ったり、味わったりすることができる。 C:黒板に示した「心にひびくとは･･･」を確かめたり、自分が集めた「心にひびく言葉やセリフ」を見直したりするように声をかける。 【１０の学びの視点　⑤協働的な学びの充実】
まとめる・振り返る	6,全体で発表する。	○同じ場面でも色々な言葉を使って友達へ声をかけたり、自分に言い聞かせたり、することができることを押さえるようにする。
	7,今日の学習を振り返る。 〈例〉これからも、もっといろんな言葉やセリフを見つけていきたい。	○自分や友達が見つけた「心にひびく言葉やセリフ」から、考えたことや思ったこと、これからの生活にどのように生かせるのかなどを振り返る。